

試験日・申込期間・申込方法

【試験日】2026年2月8日（日）

- ▶ 試験開始時間：午後2時からを予定
- ▶ 各級同時刻に実施のため併願はできません
- ▶ 合格発表予定日：2026年3月25日（水）

【申込期間】

2025年10月28日（火）～12月8日（月）

※郵送の場合は当日の消印有効

【申込方法】

インターネット申込または受験願書の郵送

受験料

- ◆ 1級：11,000円 ※受験料は消費税を含みます
- ◆ 2級：6,600円 3級は生徒割引の設定があり、
- ◆ 3級：5,500円 高校生10名以上の団体は生徒1名あたり2,970円になります

試験実施場所

以下の試験会場（エリア）を予定しています

- ★ 札幌会場（札幌市内）
- ★ 帯広会場（帯広市内）
- ★ 網走会場（網走市内）
- ★ 仙台会場（仙台市内）
- ★ 秋田会場（秋田市内）
- ★ 山形会場（鶴岡市内）
- ★ 栃木会場（宇都宮市内）
- ★ 群馬会場（高崎市内）
- ★ 埼玉会場（埼玉県内）
- ★ 千葉会場（千葉市内）
- ★ 東京会場（都内）
- ★ 新潟会場（長岡市内）
- ★ 福井会場（福井市内）
- ★ 長野会場（長野市内）
- ★ 静岡会場（静岡市内）
- ★ 名古屋会場（名古屋市内）
- ★ 大阪会場（大阪市内）
- ★ 島根会場（松江市内）
- ★ 岡山会場（岡山市内）
- ★ 広島会場（東広島市内）
- ★ 愛媛会場（松山市内）
- ★ 高知会場（高知市内）
- ★ 福岡会場（福岡市内）
- ★ 大分会場（豊後大野市内）
- ★ 鹿児島会場（鹿児島市内）
- ★ 沖縄会場（沖縄県内）

- 今後の状況により、上記の会場（エリア）は変更される場合や会場数が増減する場合があります。
- 会場施設については、10月以降に土壤医検定のwebサイトや試験案内に掲載します。
- 1級試験は星印（★）の付いた会場のみ実施します

研修会のご案内

土壤医検定研修会は、試験に出題されやすい重要項目を研修会で配布する専用テキストに記載し、重点的に説明します。また、過去に出題された主な問題の紹介とその解説も行います。

- お申込みや詳細は土壤医検定のホームページをご覧ください。

主に受験者を対象とした土壤医検定研修会

対象	地区	日程	会場
1級レベル	東京	12月4日（木） 12月5日（金）	会議室・内海
2級・3級レベル	札幌	12月1日（月） 12月2日（火）	道特会館
	東京	11月8日（土） 11月9日（日）	東京農業大学
	大阪	11月25日（火） 11月26日（水）	ドーンセンター
	福岡	11月20日（木） 11月21日（金）	福岡朝日ビル

受講料：1級レベル 22,000円 2級・3級レベル 13,200円（連続受講 22,000円）

- ◆ 1級レベルは2日間で1セットです。2級・3級レベルについては日程の1日目が3級レベル、2日目が2級レベルとなっています。
- ◆ 2級・3級レベル研修会はweb配信も予定しています。

※農林水産省「みどりの食料システム戦略推進交付金」の都道府県実施計画に本研修会が盛り込まれている場合は、参加費が助成対象となります。

参考書のご案内

土壤医検定試験の参考書を発刊しています。試験問題は、これらの参考書から出題されます。

- ご購入や詳細は土壤医検定のホームページをご覧ください。

				
1級用	2級用	3級用	既出問題集 2018-2020	既出問題集 2021-2023
4,730円	4,180円	2,530円	2,090円	2,200円

お問合せ先 土壤医検定事務局

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-54 英光ビル3階
一般財団法人 日本土壤協会
TEL 03-3292-7281 FAX 03-3219-1646



土壤医検定

検索



土づくりの専門家を目指そう！

土壤医検定

2025年度 受験案内



長野県南安曇農業高等学校のみなさん

検定試験日

2026年2月8日（日）

1級

2級

3級

土壤医検定のwebサイト <https://doiken.or.jp/>

主催：一般財団法人 日本土壤協会

後援：農林水産省

全国農業協同組合中央会 全国農業協同組合連合会 全国農業大学校協議会
全国農業高等学校長協会 日本園芸農業協同組合連合会 日本生活協同組合連合会
一般社団法人全国肥料商連合会 土壤医の会全国協議会 全国土壌改良資材協議会

土壌医検定とは



最近、地力の低下、土壌病害の発生等や生産コストの低減が課題となっており、土壌診断に基づく土づくりの推進が重要となっています。

しかし、近年、こうした課題に対応できる土づくりの専門家が少なくなっており、こうした人材を育成するため、土壌医検定試験を行っています。

試験の名称は、土壌を診断し、処方箋を出す専門家という内容から見て『土壌の医者』と言えることから「土壌医検定試験」と命名しております。

試験合格後は、当協会へ登録していただくことにより「土壌医」等の資格の名称が使えます。

資格登録と登録後の活動

資格登録のメリット

- 名刺等に資格名を掲載することが可能
- 農林水産省のwebサイト「土づくり専門家リスト」への掲載を推薦※1
- 各種研修会等の参加費が割引
- 資格登録者間のネットワークが拡大※2

※1 原則、当会では1級合格の資格登録者のみを推薦しています。

※2 資格登録者は現在約4,100名おり、これらの方を中心に「土壌医の会」が結成されています。（2025.5現在 41土壌医の会）
土壌医の会では研修会、土づくり普及のための活動等を行っており、仲間を募集しています。

合格者から寄せられた声（抜粋）

- 資格取得に向けた学習の中で、収量を落とさずに肥料コストを下げることができました。（農場経営者）
- 作物や土壌の知識を得られたことにより、営農指導にも幅が出たと感じました。（農協職員）
- 社内でも資格試験が浸透し、土壌用語が分かるので栽培のコミュニケーションがとりやすくなりました。（農業法人代表）

合格者から寄せられた声を下記webサイトで紹介しています。

<https://soil-doctor.net/voice>



試験区分と内容

区分 資格名	1級 土壌医	2級 土づくりマスター	3級 土づくりアドバイザー
技術レベル	土づくりについて高度な知識・技術を有し、また、5年以上の指導実績又は就農し、土づくりに取組んできた実績を有する者で、処方箋作成とともに施肥改善、作物生育等改善の指導ができるレベルにある者。	土づくりに関し、やや高度な知識・技術を有するとともに、土壌診断の処方箋を作成できるレベルにある者。	土づくりに関する基礎的な知識・技術を有し、土づくりアドバイザーとして対応できるレベルにある者。
試験回数	年1回	年1回	年1回
試験方法	学科試験・記述試験・業績レポート	学科試験	学科試験
受験資格	土づくり指導又は就農実績5年以上	問わない	問わない
出題範囲	2級レベルの知識に加え、作物生育との関係での土壌診断と対策（処方箋）の指導ができる知識と実績 〔土壌化学性・物理性・生物性と農作物の安定生産・品質向上対策、栽培環境の変化と土づくり対策、環境負荷軽減を目指した土づくり対策等〕	3級レベルの知識に加え、施肥改善の処方箋が作成できる知識 〔作物生育と化学性・物理性・生物性の診断と対策、肥料・土壌改良資材・堆肥の種類と特色、主要作物の栽培特性と土壌管理、土壌診断の種類と進め方等〕	土づくりと作物生育との関係の基礎知識 〔作物の健全な生育と土壌環境、作物生育と土壌化学性・物理性・生物性との関連、土壌管理・施肥管理、主要作物の施肥特性、土壌診断の内容と進め方等〕
解答方式	① マークシート方式 4者択一 50問（配点50点） ② 記述方式（配点25点） ③ 業績レポート（配点25点）	マークシート方式 4者択一	マークシート方式 3者択一
学科試験 問題数		60問	50問
合格基準	100点中70点以上 ただし、「業績レポート」が20点以上に達していなければ、全体で70点以上でも不合格とする	60問中40問以上正解	50問中30問以上正解

● 資格名は、試験合格後の登録申請（任意）により付与します。登録料が別途必要です。

過去に出題された試験問題にチャレンジしてみよう！



3級 2021年度 作物生育と土壌の化学性

問 カルシウム欠乏による生理障害はどれか。
次の中から一つ選びなさい。

- ① ブロッコリーの花蕾黒変症やトマトの乱形果
- ② リンゴのビタービットやトマトの尻腐れ症
- ③ キュウリの曲がり果やハクサイのごま症

いぬふくろきょう
この試験の答えは、①です。カルシウム欠乏による生理障害は、ブロッコリーの花蕾黒変症やトマトの乱形果、リンゴのビタービットやトマトの尻腐れ症、キュウリの曲がり果やハクサイのごま症などです。カルシウムは植物の細胞壁を構成する重要な成分であり、カルシウム欠乏は細胞壁の脆弱化を引き起こし、さまざまな生理障害の原因となります。

2級 2022年度 主要作物の栽培特性と土壌管理

問 水稻の生育特性と施肥管理に関する記述の中で、正しいものはどれか。
次の中から一つ選びなさい。

- ① 高温障害の中で、特に背白粒や基部未熟粒は、登熟期の窒素過剰によって発生する場合がある。
- ② 幼穂形成期に施用する穂肥は、水稻の穂数と粒数の増加に有効である。
- ③ ケイ酸は、リン酸と同様に生育初期に必要とされるため、基肥での施用が望ましい。
- ④ 還元状態である水田では、リン酸は鉄に固定されるため、畑に比べてリン酸の施用量を多くする。

いぬふくろきょう
この試験の答えは、②です。水稻の生育特性と施肥管理に関する記述の中で、正しいものは、幼穂形成期に施用する穂肥は、水稻の穂数と粒数の増加に有効であるというものです。高温障害の中で、特に背白粒や基部未熟粒は、登熟期の窒素過剰によって発生する場合があるという記述は、正しいものではありません。ケイ酸は、リン酸と同様に生育初期に必要とされるため、基肥での施用が望ましいという記述は、正しいものではありません。還元状態である水田では、リン酸は鉄に固定されるため、畑に比べてリン酸の施用量を多くするという記述は、正しいものではありません。